

第2章 令和4年度山口大学構内遺跡の調査

第1節 令和4年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内はいずれも「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、いわゆる「遺跡」の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、古代官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は、大学構内に埋存する貴重な文化財の保護・調査・研究・活用する施設として、昭和52(1977)年に竣工し、翌昭和53(1978)年に構内遺跡調査要項(埋蔵文化財資料館規則など)が制定、昭和54(1979)年に教職員が配置されて以降、その重責を担い続けている。当館の令和4年度の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が所在する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の観点から、文化財に支障が生じる可能性が考えられる場合には、本発掘・予備発掘・工事立会の3種いずれかの方法で、厳密に調査を実施している。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(公認サークル施設や職員宿舍等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できる限り工事掘削時に確認調査を行っている。これらの調査に対する令和4年度の当館の教職員配置は、兼任の館長および副館長が各1名、専任教員2名、併任技術職員1名、技術補佐員1名であった。上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、埋蔵文化財資料館専門委員会において、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能であるか厳格な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て、できる限り迅速に発掘調査概報(年報)を刊行している。

表3 令和4年度山口大学構内遺跡調査一覧

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m ²)	調査期間	本書掲載頁
予備	附属農場フィルムハウス設置に伴う造成工事	吉田	T-14・15	16	9月30日～10月18日	16
	学生会館増築工事	吉田	H-12	35	2月8日～2月28日	21
立会	特別支援学校校舎改修工事	吉田	B-20・21・22 C-20・21・22 D-20・21・22	890	2月15・22日 4月25・27日 5月9・20・27日 6月17日 7月20日～8月5日 11月4・15・21日	26
	守衛所周辺電気配線盛替え工事	吉田	I-15	3	11月4日	38
	農学部授業(生物資源環境科学基礎実験)	吉田	S-16、T-18	1	11月8日	39
	附属農場太陽光発電システム設置に伴う電線埋設工事	吉田	R-16、T-17	27	1月27日	40
	ライフライン再生(給排水設備)工事	常盤		90	9月15日、11月30日 12月2・5・6日	41

令和4年度は、前年度に比して埋蔵文化財保護対応が必要な工事計画が半減した。例年どおり工事の大多数は吉田構内に集中することとなったが、上記の体制のもと、令和4年度に当館が実施した各構内における調査は、表3のとおり総数7件、内訳は予備発掘調査2件(吉田2)、工事立会5件(吉田4・常盤1)であった。

吉田構内(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部:山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校:同吉田3003所在)

予備発掘調査2件、立会調査4件を実施した。構内北西端部では、令和元年度に実施した学生会館新営工事に伴う予備発掘調査にて弥生時代の河川跡を確認しており、令和3年度に行った文化サークル棟新営その他工事に伴う予備発掘調査ではその延長部と推測される河川跡を検出しているが、当該年度に実施した学生会館増築工事に伴う予備発掘調査では、明確な埋蔵文化財は確認されなかった。

農学部附属農場本館周辺の敷地では、本館北側にて昭和41(1966)年に実施された牛舎新営に伴う



写真20 吉田構内航空写真(南東から)



写真21 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)航空写真(東から)



写真22 白石構内(教育学部附属山口中学校)航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

発掘調査区(吉田第Ⅳ地区)以外は埋蔵文化財の分布が確認されていなかったが、フィルムハウス設置に伴う造成工事に伴う予備発掘調査にて、遺物包含層の下位に形成された複数の遺構を検出したことにより、附属農場本館南側にも埋蔵文化財が分布することが確認された。

特別支援学校校舎改修工事に伴う立会調査では、新規掘削となった配管路において、弥生時代中期に機能したとみられる溝1条を検出した。

白石構内(教育学部附属山口幼稚園:山口市白石三丁目1-2、同山口小学校:白石三丁目1-1、同山口中学校:白石一丁目9-1所在)

令和4年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

小串構内(医学部、同附属病院:宇部市南小串1丁目1-1)

令和4年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

常盤構内(工学部:宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍:同上野中町2658-3所在)

立会調査1件を実施したが、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

光構内(教育学部附属光小学校、同光中学校:光市室積8丁目4番1号)

令和4年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。



図2 小串・常盤構内位置図



写真23 小串構内航空写真（南東から）



写真24 常盤構内航空写真（南から）



写真25 光構内航空写真（北東から）

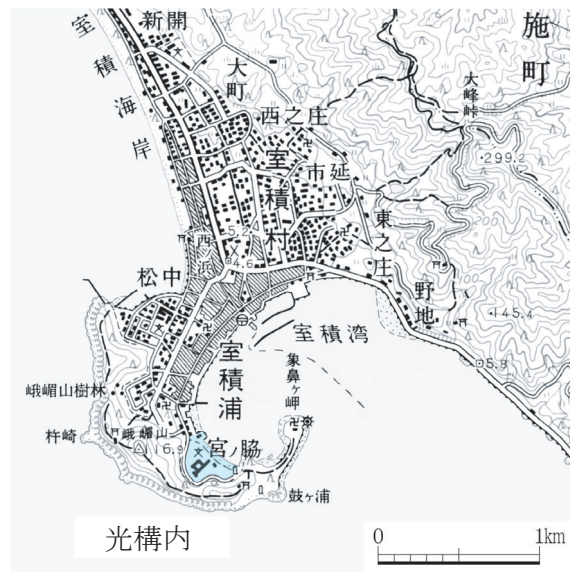


図3 光構内位置図